

製本のススメ

Vol. 162

あっという間に秋が通り過ぎて冬になりました。毎年のことですがこの時期製本会社は時間に追われます。年内の仕事 年始の仕事の両方が重なるからです。どんなときにも健康管理！人ごみの中に行くときにはマスク着用等予防も大切です。

今回は**発注のポイント**の話し

最近ネット印刷会社からの刷り本直入という事が増えてきました。このような場合は**原稿や一部抜きなどがありません**。そのため製本仕様に不明点や勘違い また最終工程までの指示がない場合が多く、加工の進捗に影響がでます。段ボール詰め刷り本が順序なく入荷され、どの箱に何ページが何台入っているか・すべての印刷物が来ているのかを**開封しながら確認する作業が発生するため**5箱程度なら良いですが20箱以上も来ると**広げる場所だけでも大変で半日以上かかることもあり**これでは単納期を求められても答えられません。

また丁合順序など確認しづらい場合も多く、その確認に手間取ります。印刷を発注した側は出来上がりを理解していても、加工会社では初めて見る刷り本です。事前にサンプルやコピーを取るなどして、打ち合わせをして下さい。

さらに**仕上がり品の包装指定や支給品のラベルがあれば同時に入荷することがポイント**です。加工会社には多くの製品が入荷されており、一連の作業が中断すると、改めて軌道に載せる事が難しい場合も起こります。

また**紛らわしい表現も避けておきましょう**。クロス巻きとマーブル巻き 帯かけと胴巻き(胴掛けとも言います)ラベル貼りは貼る位置の指定もあります。

慌ただしい時期でもあります、電話だけでなくFAXのみでもなく 加工会社としっかり打ち合わせをしていきましょう。



Tea break

新年を迎えてそろそろ動き始めるのが上製本です。そこで困るのがページ数の薄いタイプ(束厚が3ミリ以下)です。基本的には上製本にはなりません。用紙を厚くすれば、本が開きません。そんなお悩み解決に当社は取り組みました！

全ページ見開きOK・中身が薄くてもOKです。オンデマンド印刷にも対応。

最近インスタ萌えとか言うものもあるらしく、見開きなら客先にもアピール満点です。只今絶賛サンプル作成しておりますので、ご興味のある方はご一報ください。

弊社HPは www.isekiseihon.com

facebookは「井関製本の日々」

by (株) 井関製本